

荻田バトン ～地域のかで！子どもの未来へ～



編集／発行 荻田町教育委員会生涯学習課生涯学習担当

e-mail syogakuka@town.kanda.lg.jp Tel 093-434-2044 Fax 093-434-5543

「地域学校協働活動だより」は荻田町のホームページにも掲載されています。
スマホで読み取ったり、パソコンで検索して、カラー付き写真の記事をご覧ください。

荻田小フェス2025を開催しました！



全校児童・保護者・
先生・地域の方々が
温かく見守りました



2回目の子どもフェスティバルが行われました。
子どもたち主体の企画・運営が特徴です。そのサポートを保護者であるPTAが担い、全児童参加のもとに
活気あふれる演奏や演舞、歌、運動実技など、多彩な
活動内容でした。

11月8日（土）、土曜授業の一環として行われ、
多くの保護者、地域の参加を得て大盛況でした。演技
をする人に合わせて、手拍子したり、歌ったり体育館
が一体となりました。最後に『感動した。続けること、
やればできること、心を込めた素晴らしい発表会だった』と、校長先生の励ましの言葉がありました。

与原小フェス・バザーを開催！

11月15日（土）午前中、体育館ではお菓子やパンの提供があり、またリサイクルコーナーでは制服や体育服などのバザーが行われました。また、2階の学習室ではスライムづくりを保護者の方々が丁寧に声掛けや支援されました。

教室を使つての探検めぐりや手作りの遊びなど、盛りだくさんの活動をPTAや地域の方々のボランティアに支えられたフェスティバルになりました。



馬場小フェスを開催！

11月15日（土）午前中、体育館と運動場では様々なゲームや軽スポーツなど、子どもたちの興味のある遊びができました。

体育館入口ではテントが並び、手作りお菓子等の食べ物コーナーは行列ができるほど大賑わいでした。保護者や放課後児童クラブや子どもひろばのスタッフの方々による多くのサポートによる協働活動でした。



白川小「体験活動の日」11月25日(火) 全学年でゲストティーチャーが支援！

1・2年⇒昔遊び&わらべ歌&お手玉&読み聞かせ
3・4年⇒竹の空気鉄砲の作り方&飛ばし・的当て
5・6年⇒ワラのしめ縄づくり&切り下げ飾り付け
それぞれの場所に地域のボランティアの方14名
がゲストティーチャーとして子どもたちに技を教え
伝えました。授業では体験できない貴重な活動です。



お手玉も竹鉄
砲も意外と難し
く、みんな挑戦し
て出来るようにな
りました。体験
の楽しさです。



6年男の感想
『ワラを編む作業
は意外と難しく、大
変だったが最後
には出来上がり嬉し
かった。教えて頂い
たおかげです。』

保護者も
参加して
学校家庭
地域の協
働活動が
実を結び
ました。

北公民館動物フェスタ2025！ 子どもたちや地域の方々、800人越えの人出

12月7日(日)北公民館で恒例のふれあい動物
園がありました。えさやりや手で直接触り、ポニー
に乗る体験に子どもたちは大喜びでした。

また、キーホルダー作り、殿川ホテルお話&折り
紙体験、ミニ四駆・ロボット作り、パトカー・白バ
イ乗車体験、スタンプラリーなど、豊富なメニュー



“ふれあいから生まれる地域の笑顔”を
合言葉に、みんなが感動を体験しました！



に親子や祖父母、友だち同士で積極的に挑戦し
ていました。

この大イベントは、高校生・大学生を含め町
民ボランティア総勢80名以上の支えがあった
からこそ、大成功しました。

これから。さらに地域社会が一体となって、
子どもたちの輝く未来を育んでいきましょう。

片島小人権フェスティバルは、学校と家 庭と地域の人と人をつなぐ絶好の場！

人権＝思いやり＝命をテーマに全児童・全保護者・
全職員によるフェスティバルに、地域住民15名
ほど参加して頂き、大いに盛り上がりました。

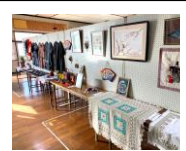


人権のお話の後、各学年発表や
レクリエーション、大縄跳びチャ
レンジ、全校合唱など、生き生き
とした子どもたちの姿にみなさんが感動されてい
ました。最後に、校長先生のお話
「手話での合唱や様々な福祉体験
などみんなで声を掛け合って協力
する姿に成長を感じました。」



馬場校区公民館の文化祭！ 子どもひろばと 放課後児童クラブの子等の作品が出展されました。

2年に一度の地域独自の文化祭が、11月の両日に
開催され、地域の方とのふれあいが深まりました。



「冬のバードウォッチング」12月6日(土) 開催！

～片島・白川子どもひろば合同の環境・郷土学習～
二時間ほど片島小周辺の川や田畑をめぐり、野鳥
や渡り鳥を双眼鏡を使いながら観察しました。専門
家の下田さんを講師に鳥の特徴や環境の影響につい
て詳しく教えて頂き、自然の大切さを知りました。



地域学校協働活動推進とは？

地域と学校の懸け橋となり、各学校の要望に応
じて学習支援や行事等を円滑に行えるような支援
や環境整備等を主な活動とする学校と地域のつな
ぎ役です。さらに配置の拡充を図っていきます。

馬場小6年生「ふるさと学習」12月9日(火)・12日(金) ガイドの会の支援！

テーマ ➤ 「地域の歴史や自然から地域の大切なものを見つけよう！」
合言葉 ➤ “ふるさとを学ぼう 地域のお宝探し”

地域の良さを知り、学習資源（歴史や文化や自然など）を体験的に学びました

9日は事前学習として、4コース（①荻田山笠と豊玉姫ものがたり、②古墳ものがたり、③殿川と石灰山ものがたり、④荻田の港ものがたり）の説明とグループ分けをしました。また京築全体・馬場小校区・荻田町の景観や歴史、くらしのプレゼンに関心を高めました。



郷土愛

12日午前中フィールドワークとして、約17名ごとの4コースに分かれて出発。説明と引率を兼ねて10名のボランティアガイドの皆様のご支援の賜物です。子どもたちの熱心なメモや聞き取りは将来の地域づくりに役立つと確信します。



第9回 折り紙ヒコーキ県大会予選会 12月20日(土)町総合体育館にて実施！

京築地区内の小学生53名参加して県大会出場をかけた予選会が行われました。基準として、「飛行距離(10m以上)」と「飛行時間(4.0秒以上)」各々に超えた21人は、県大会出場資格を得ました。県青少年育成県民会議主催にボランティアスタッフ23名の皆様の支えの下、温かい交流ができました。



“ふれあいから生まれる地域の笑顔”を合言葉に、みんなが感動を体験しました！



専門講師の折り方指導があり、丁寧に教えてもらいながら最後まで作り上げて挑戦しました。保護者や家族の方々の見守るなか、子どもたちは真剣に折り、何回も飛ばす練習をして本番に臨みました。小1年女子の感想➡「初めての紙ヒコーキの折り方は難しかったけど、うまく飛んだ時はとても嬉しかった」この感動体験が成果です。

与原小1・2年生への硬筆学習の 基礎基本にゲストティーチャーとして支援！

12月15日・16日・17日の3日間で、1年生3学級、2年生4学級の計7学級に硬筆の指導をボランティア講師の佐谷尚子さんをお願いしました。1年生の授業風景から「講師の先生の話最後までしっかり聞いて、一字一字ていねいに書く態度は真剣そのもの。みんなうまくなったと、先生に褒められ、子どもたちも大喜びでした。」



年明けの1月は2回目を実施して、書写展に出品する予定です。



南原小放課後子どもひろば・放課後児童クラブ 12月17(木) 合同サッカー教室 開催！

サッカーチーム「ドルソーレ」による合同チャレンジを行いました。50名の参加があり、3名の講師による指導のもと、一緒にサッカーを楽しみました。

今年で4回目の取組みに、子どもたちは大喜びでした。成果として、1個のボールを必死に追いかける姿は真剣そのもの。全学年が交わり、専門の指導を受けて、汗する体験に意義があります。



<編集後記> 2026年がスタートしました。今年は、昨年よりさらに学校や地域での子どもたちの体験活動・ふれあい活動の充実に向けて参ります。活き活きた子どもたちや地域の皆様の笑顔が見られますように、活動の様子を定期的に紹介していきます。皆様のご協力やご支援をよろしくお願い致します。

第4号からレイアウトを変更して、文字や写真を見やすくしました。これからも各小学校区の「地域学校協働活動推進員」が取材に伺いますので、活動情報をお寄せください。